

Intersight マネージドモードでのポートタイプの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

概要

このドキュメントでは、Intersight Managed Mode(IMM)でFabric Interconnect(FI)のポートタイプを設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Intersight Managed Mode(IMM)の一般的な知識
- 『Cisco Intersight Basics』
- [Port Types and Configuration]。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco UCS 6454ファブリックインターコネクト
- Cisco Intersight Software-as-a-Service(SaaS)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

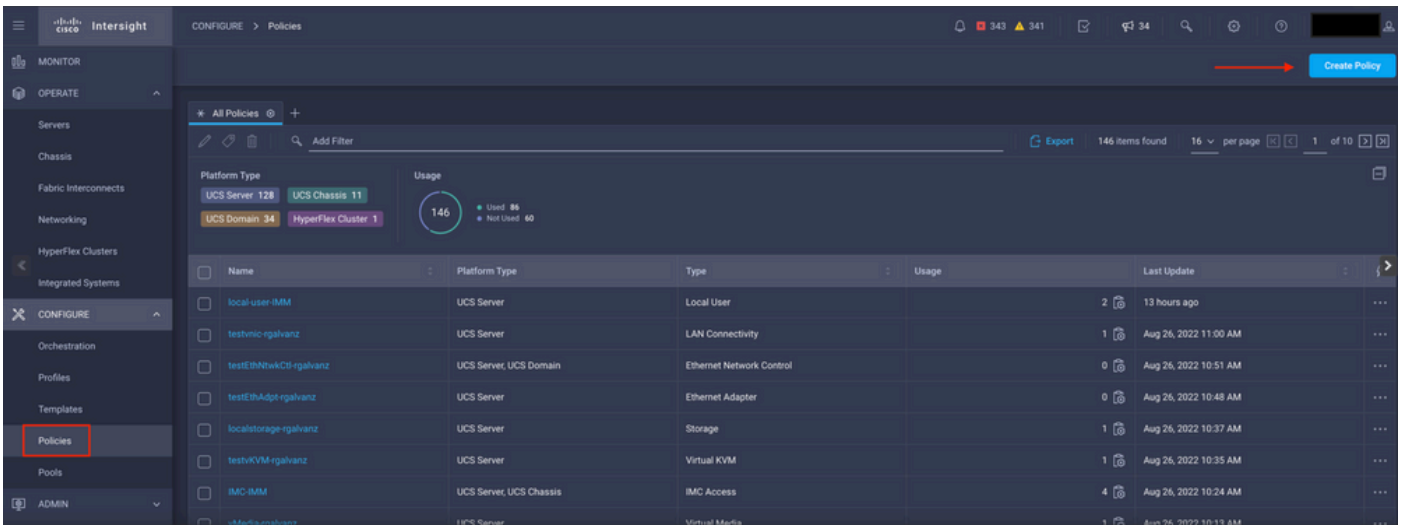
背景説明

Intersight マネージドモード(IMM)：サーバやネットワークアップリンクなどのポート設定または「ポートの役割」を設定するには、ポリシーを作成してドメインプロファイルに割り当てる必要があります。

設定

ステップ 1： ポートポリシーを作成します。

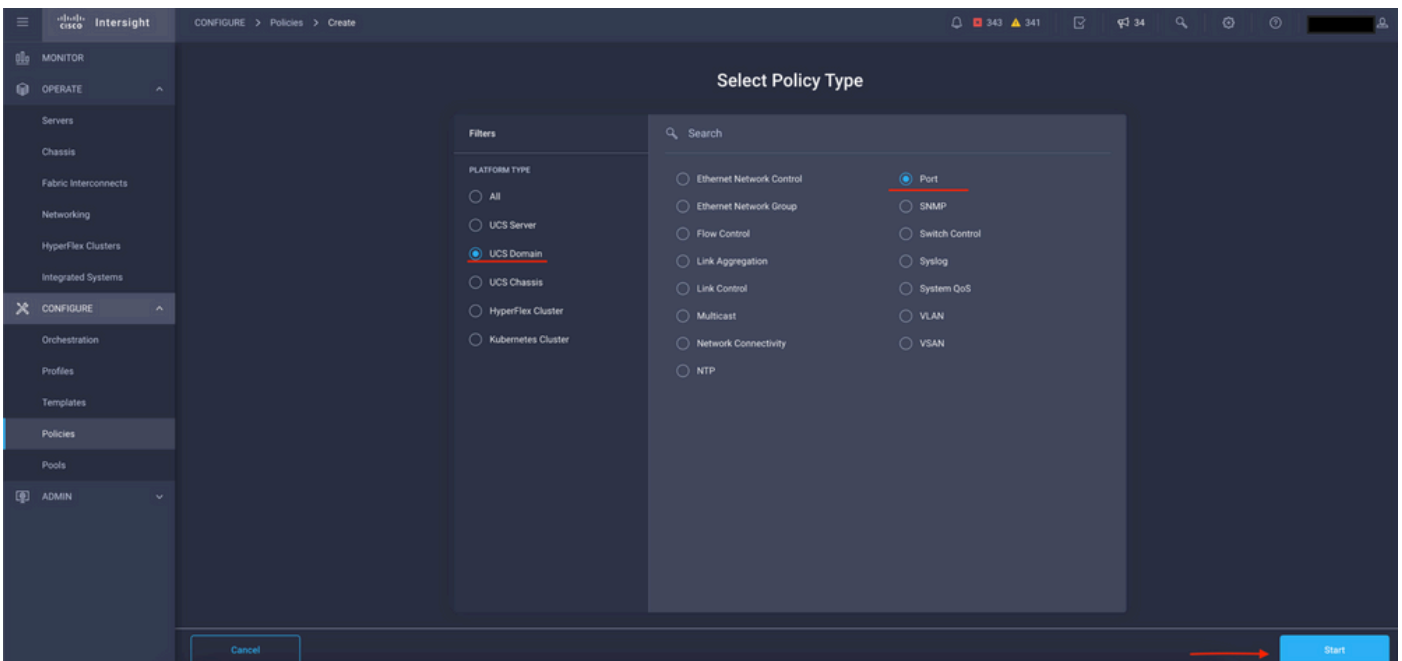
[Configure] → [Policies] → [Create Policy] に移動します。



ポリシービューの作成

[UCS Domain] と [Port] を選択します。

[Start] をクリックします。



[Policy Type]ビューの選択

ポリシーの値を設定します。Organization、Name、およびSwitch Model。

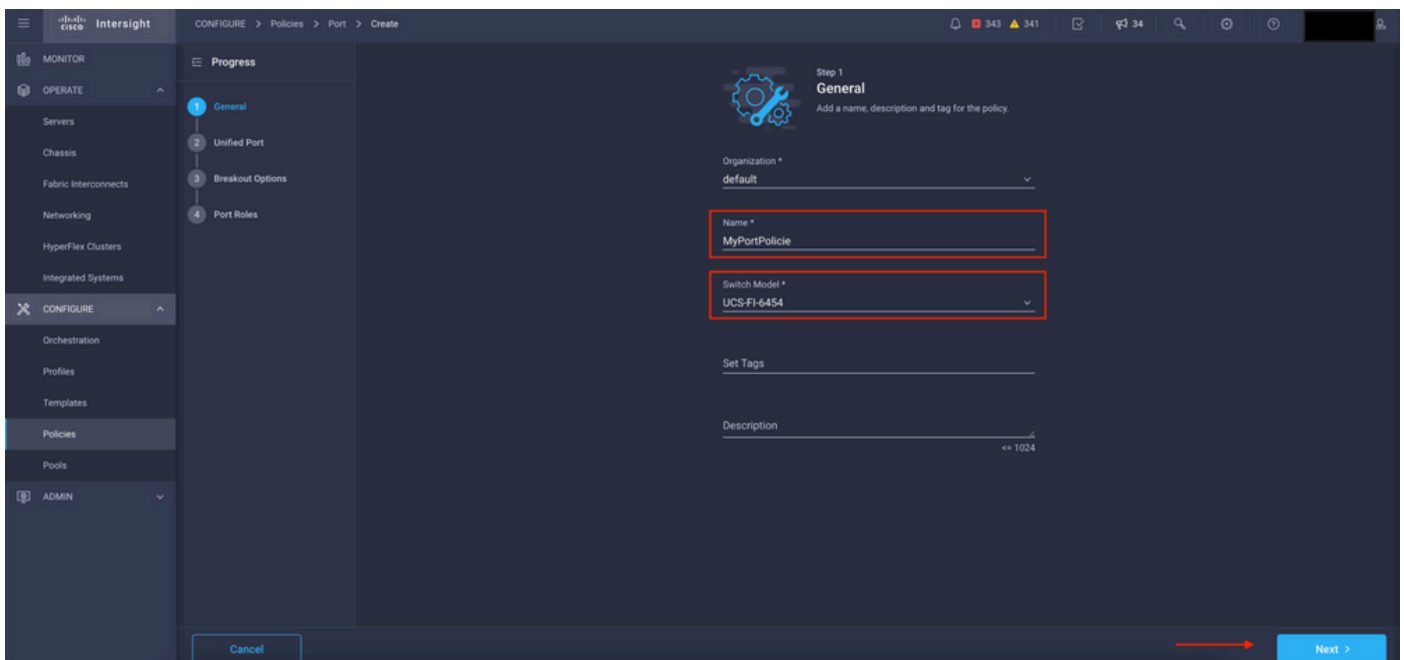
この例では、次の値が設定されています。

- 組織のデフォルト

-Name MyPortPolicy

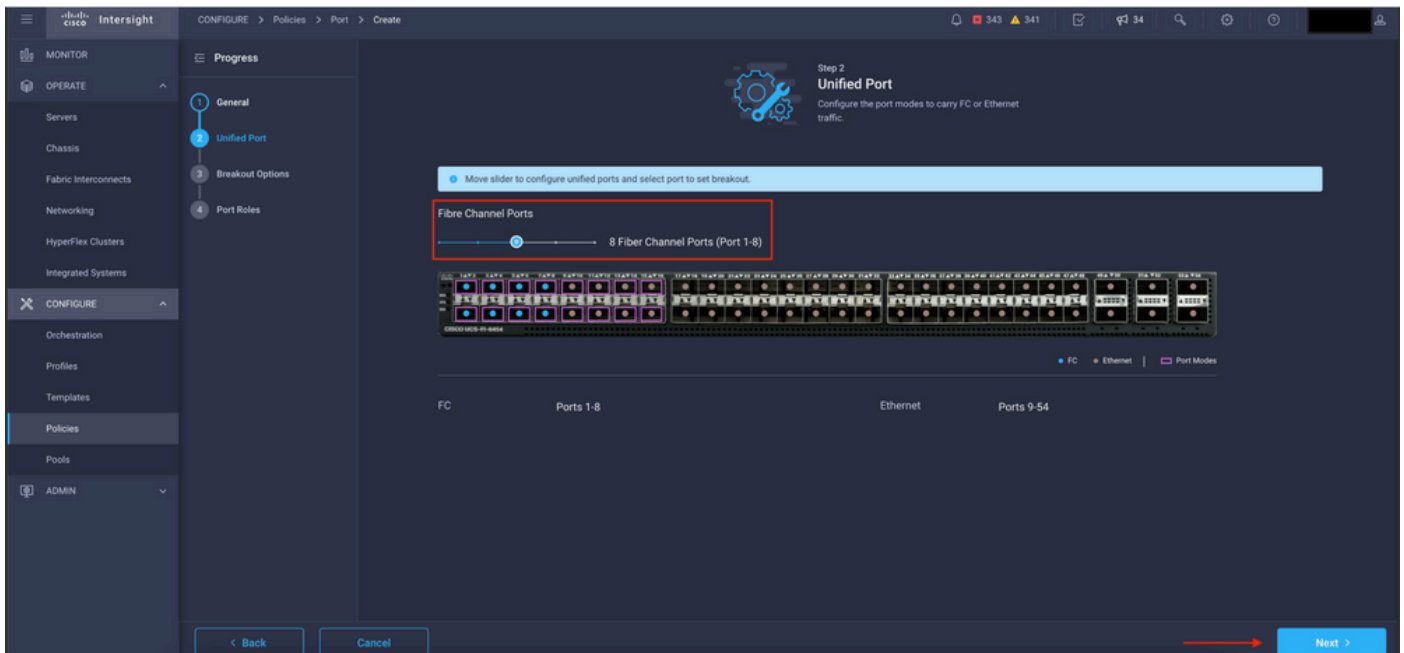
-Switch Model UCS-FI-6454

[Next] をクリックします。



[Policy Details]ビュー

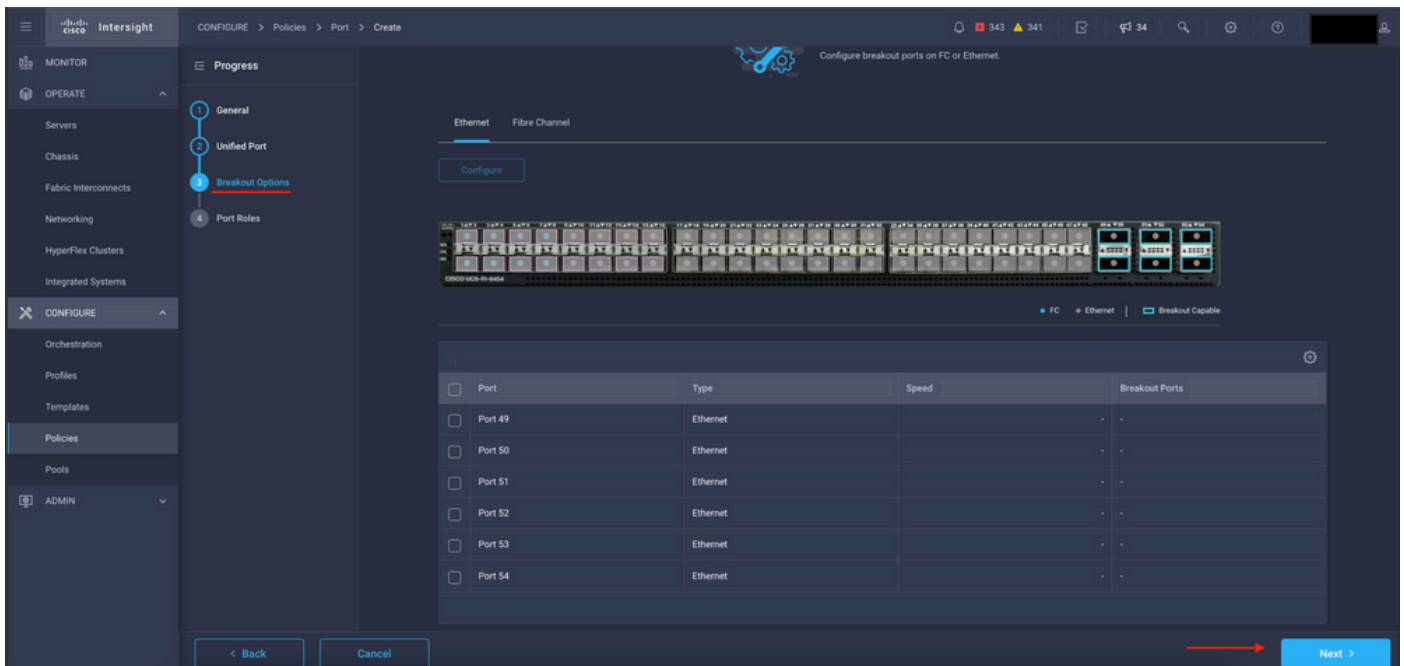
ここで、「ユニファイドポート」をFCまたはイーサネットとして設定するオプションがあります。左側（青色）のポートはFCとして設定でき、右側（紫色）のポートはイーサネットとして設定できます。



[Unified Ports]ビュー

注:6454などの固定モジュールのユニファイドポートを変更する場合、後の手順でプロファイルを展開するときにはリポートが必要になることがあります。

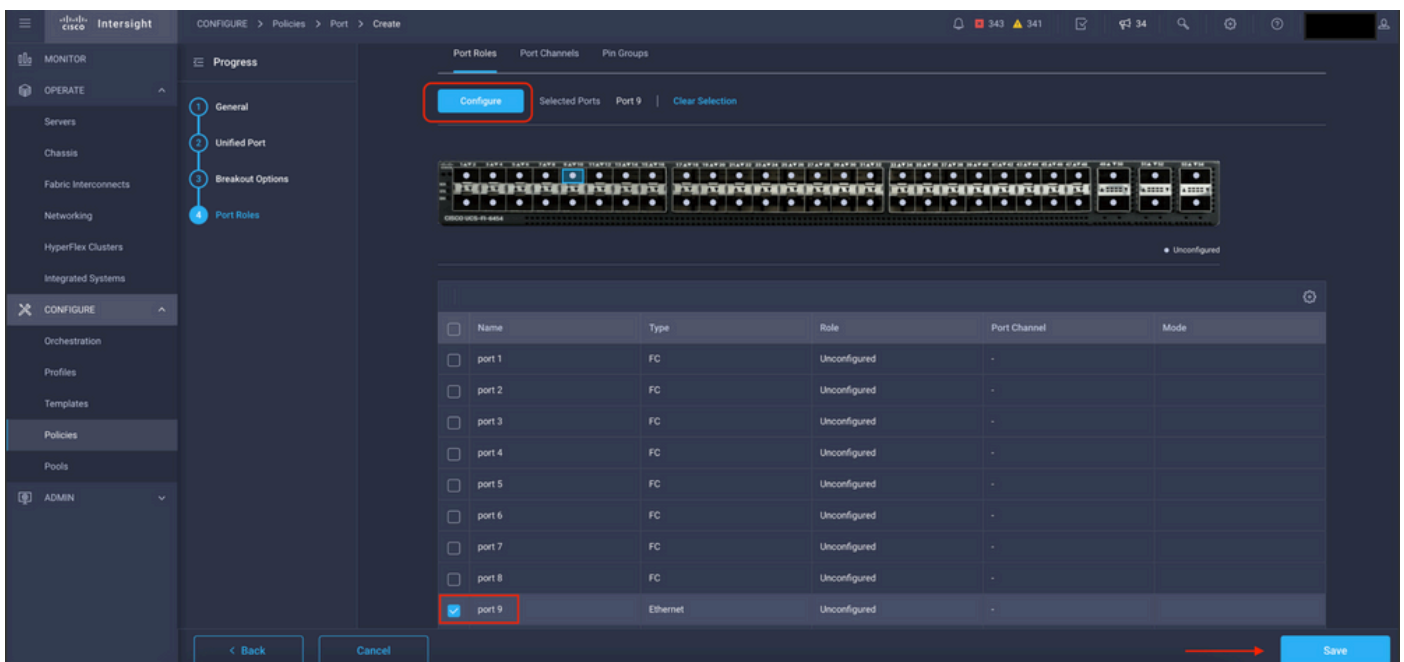
「ブレイクアウトケーブル」を設定するオプションがあります。FI 6454では、ブレイクアウトポートは49から54に変わります。



ブレイクアウトケーブルビュー

[Port Roles] ペインで、ポート設定が設定されます。

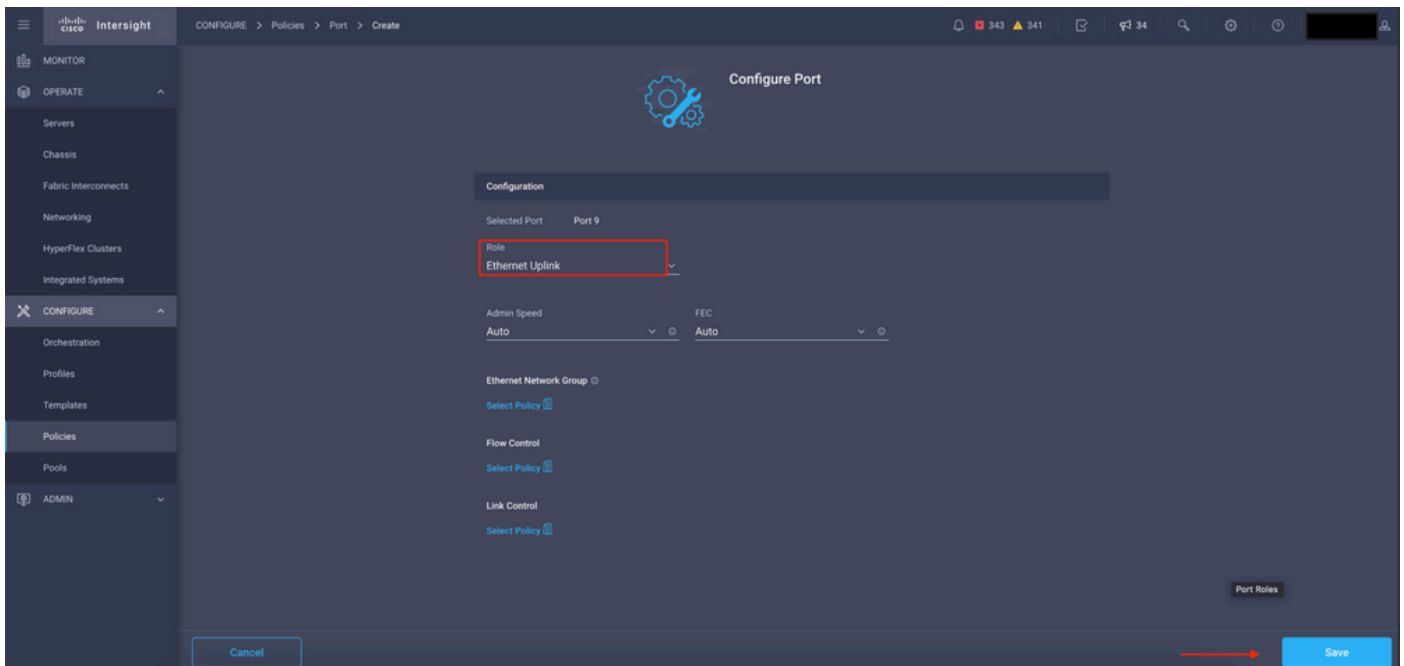
最初に、設定するポートを選択し、[Configure] をクリックします。



[Port Roles]ビュー

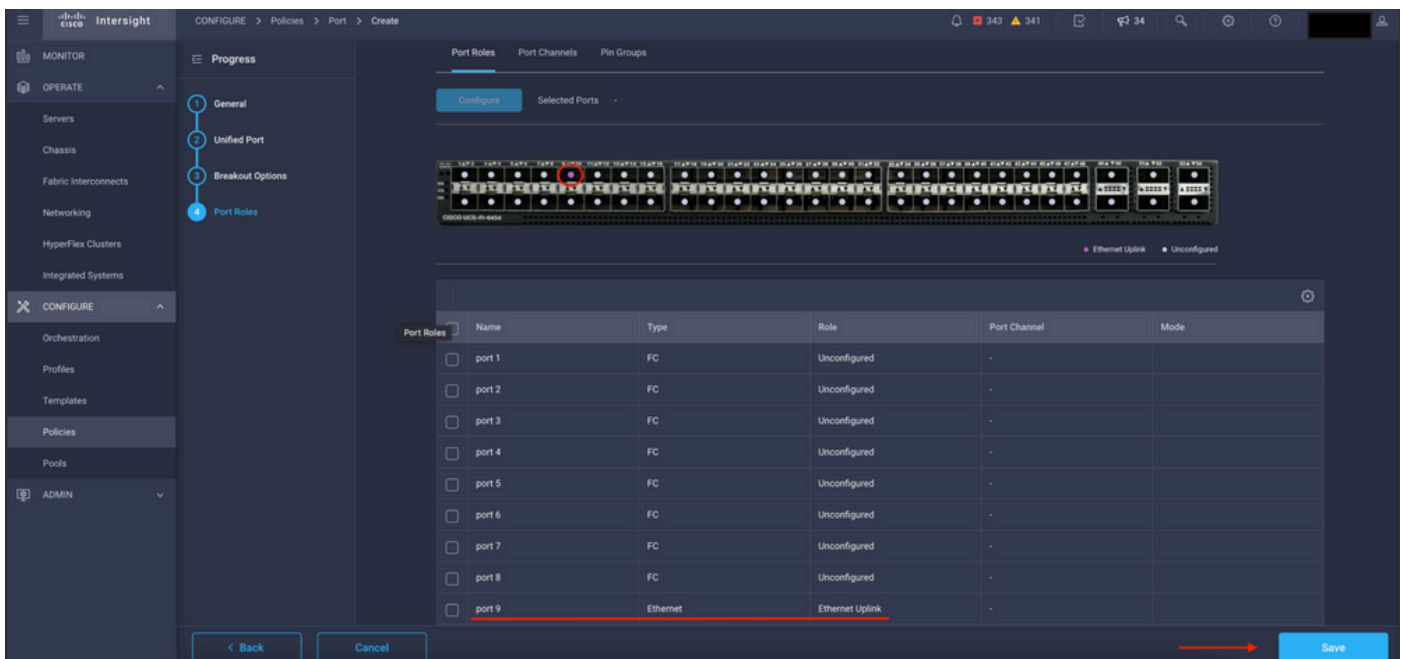
[Configure] で、ポートの[Type]、[Speed]、および[Network Policies] を設定します。

[Save] をクリックして変更を保存します。



ポートの設定の詳細

設定を検証します。

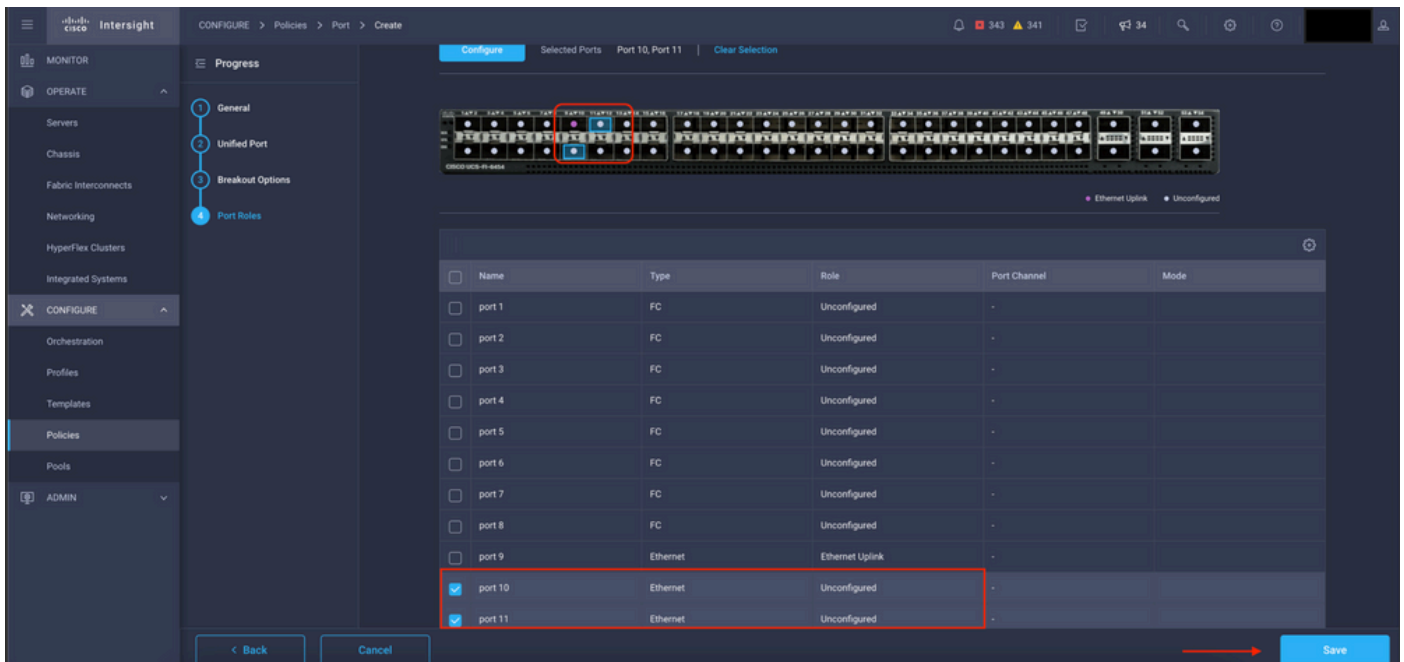


設定の検証

[Save] をクリックします。

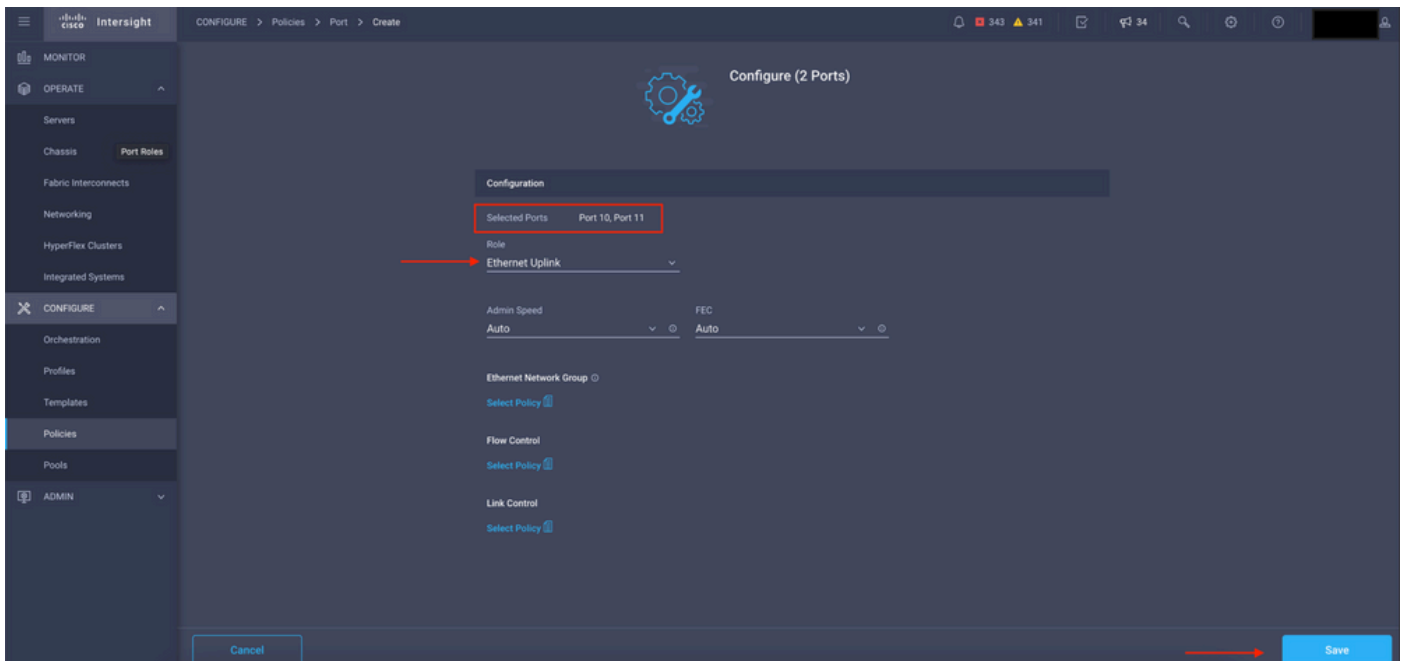
注：設定は複数のポートに同時に適用することもできます。

設定するポートを選択し、[Configure] をクリックします。



ポートの設定

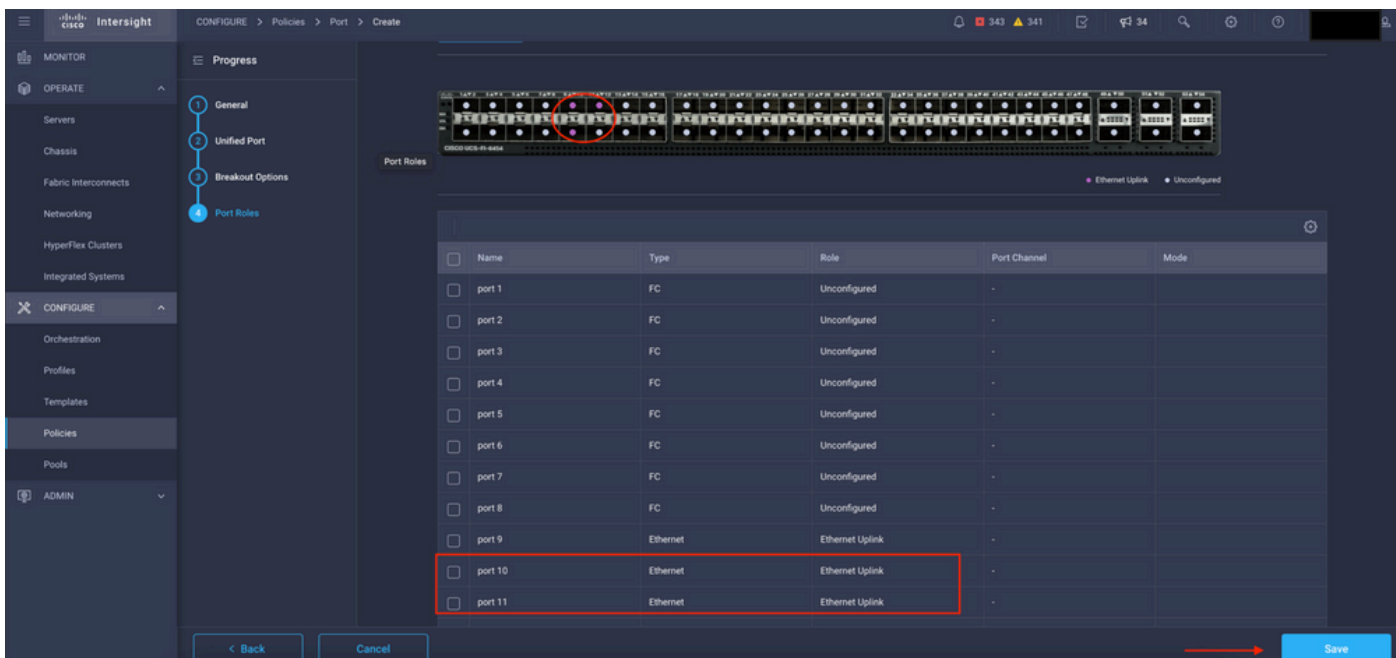
[Configure] で、ポートの[Type]、[Speed]、および[Network Policies] を設定します。



ポートの詳細

次に設定を検証します。

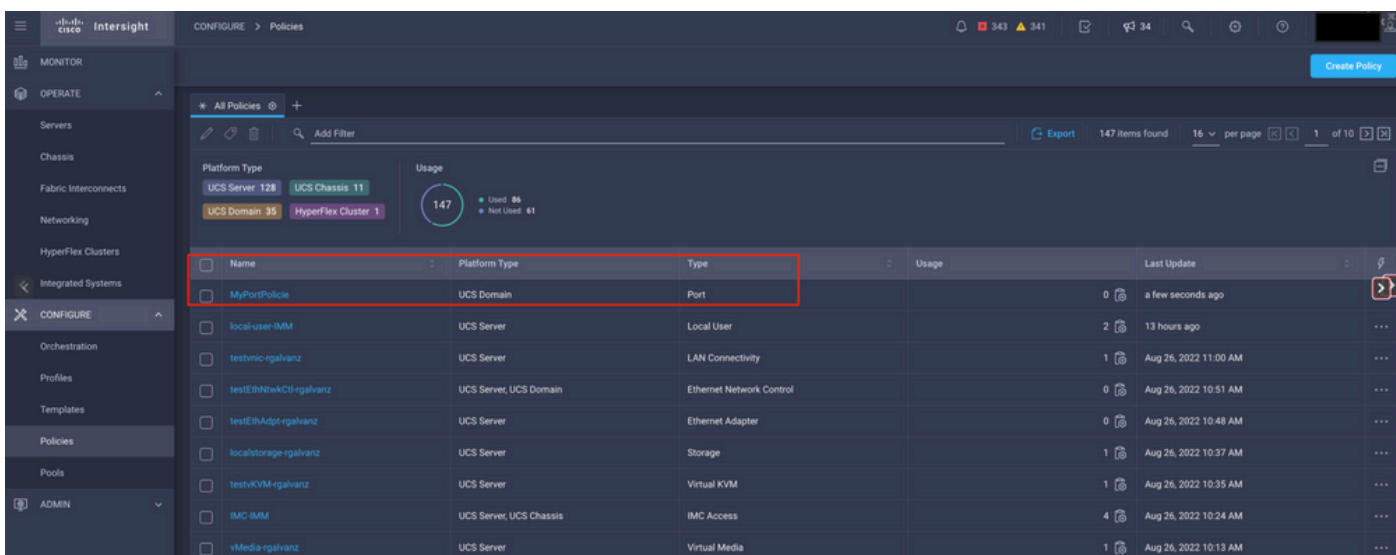
Saveをクリックして、設定を保存します。



設定の検証

次の例に示すように、設定を検証します。

ポリシーが[Policies]パネルに表示されます。

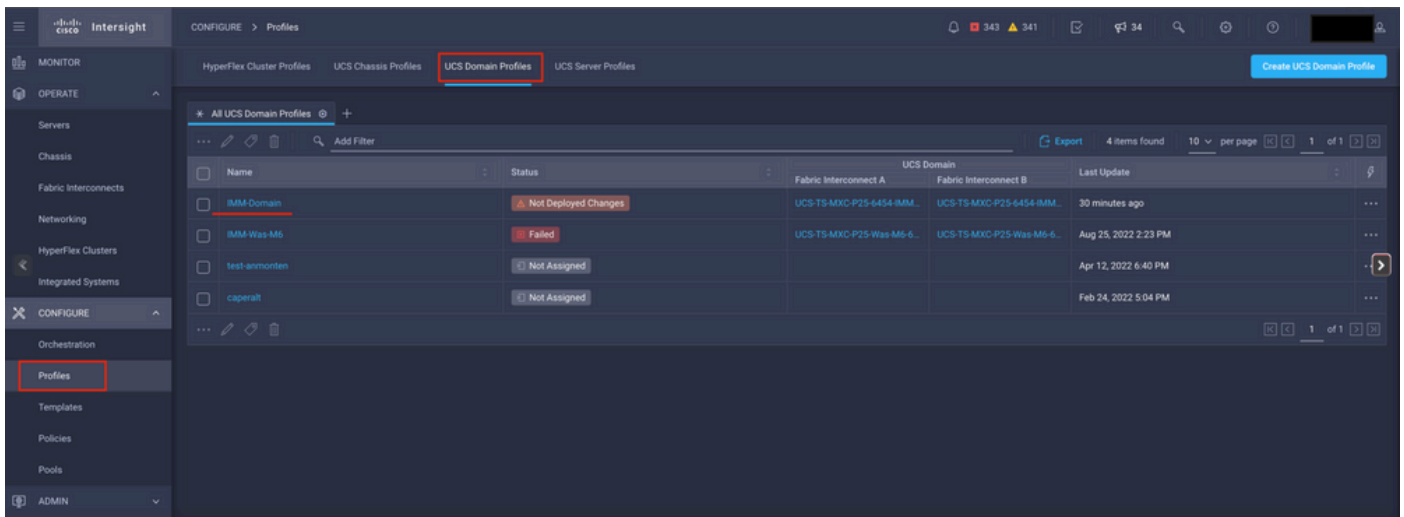


ポリシーパネル

ステップ 2: これでポリシーを作成したので、それをドメインプロファイルに適用する必要があります。

[Profiles] → [UCS Domains Profiles] → [Domain Profile Name] に移動します。

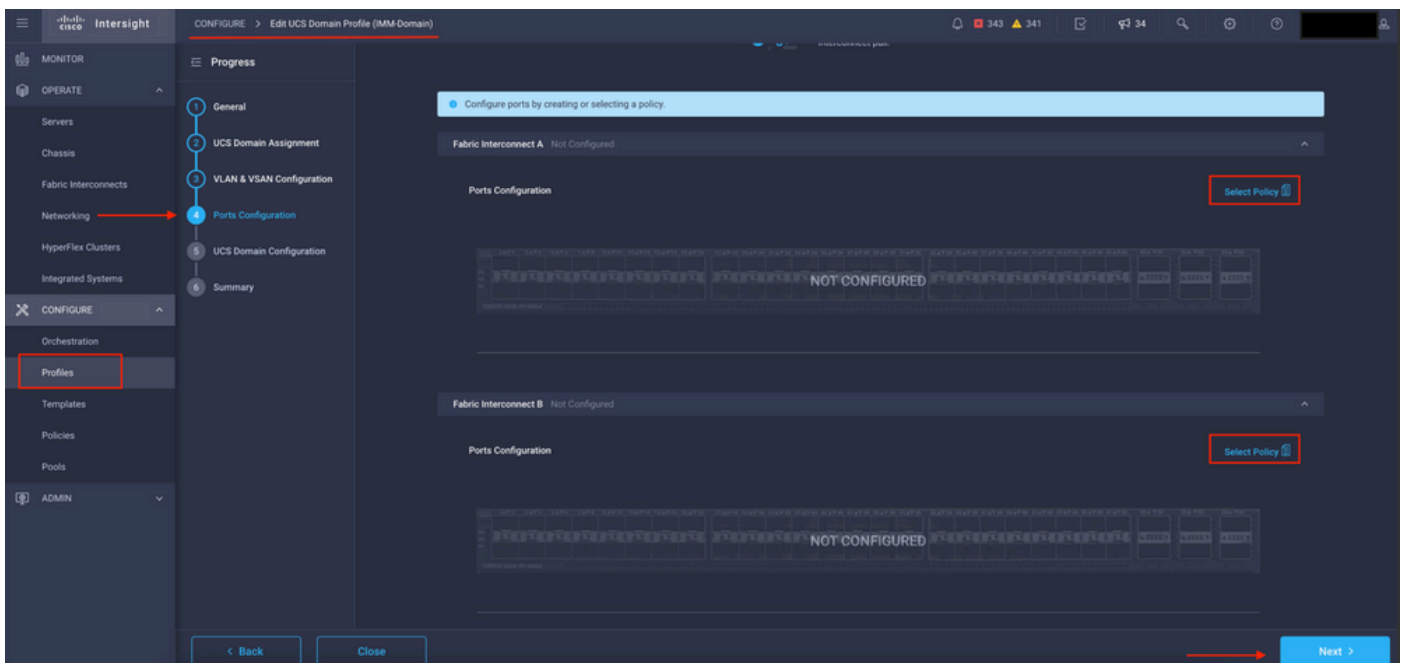
この例では、IMMドメインプロファイルが使用されます。



[ドメインプロファイル(Domain Profile)]ペイン

[Port Configuration] に移動して、[Select Policy] オプションを表示します。

[Select Policy] をクリックし、ポリシーを選択します。



Select Policyペイン

この例では、「MyPortPolicy」の前に作成されたポリシーが選択されています。

Select Policy ×

Policies 3 Create New

3 items found | 50 per page | 1 of 1

Device Model UCS-FI-6454 × Add Filter ×

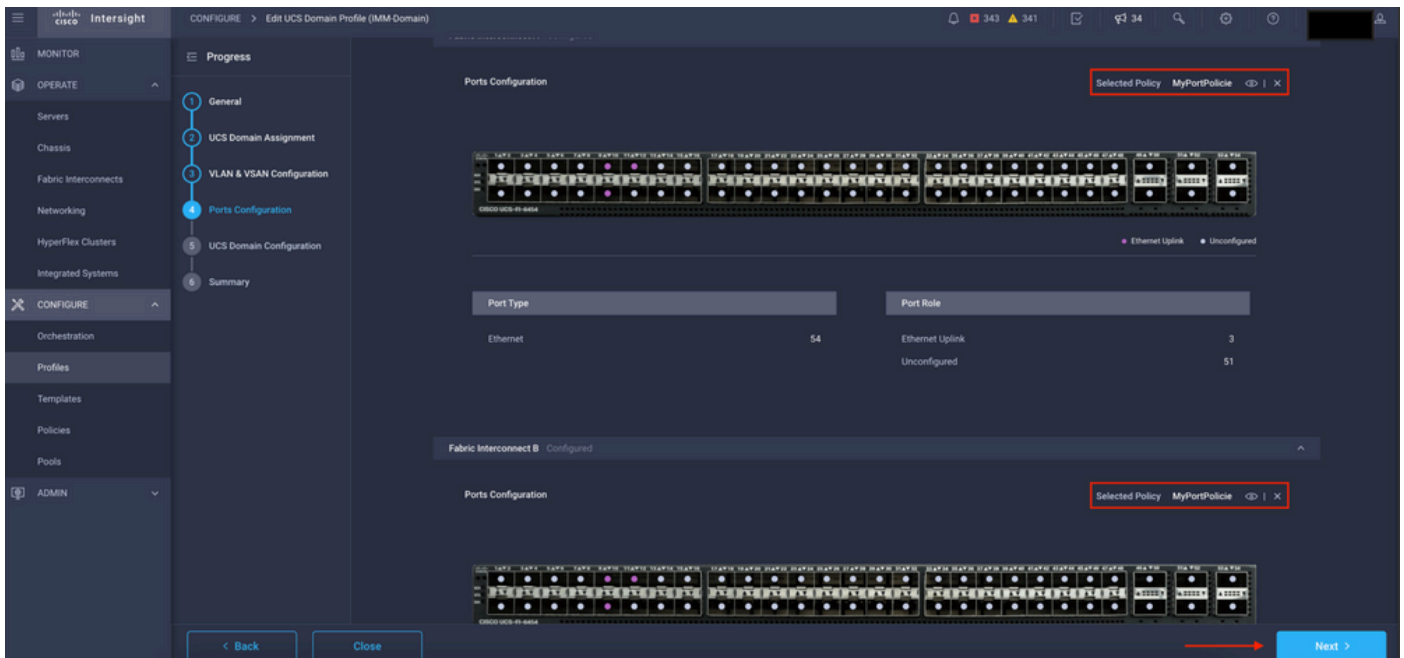
	Name	Device Model	Last Update	
<input type="radio"/>	IMM-6454-FI-A	UCS-FI-6454	2 minutes ago	
<input checked="" type="radio"/>	<u>MyPortPolicie</u>	UCS-FI-6454	6 minutes ago	
<input type="radio"/>	IMM-6454-FI-B	UCS-FI-6454	Aug 25, 2022 2:17 PM	

Selected 1 of 3 | [Show Selected](#) | [Unselect All](#) | 1 of 1

[Select](#)

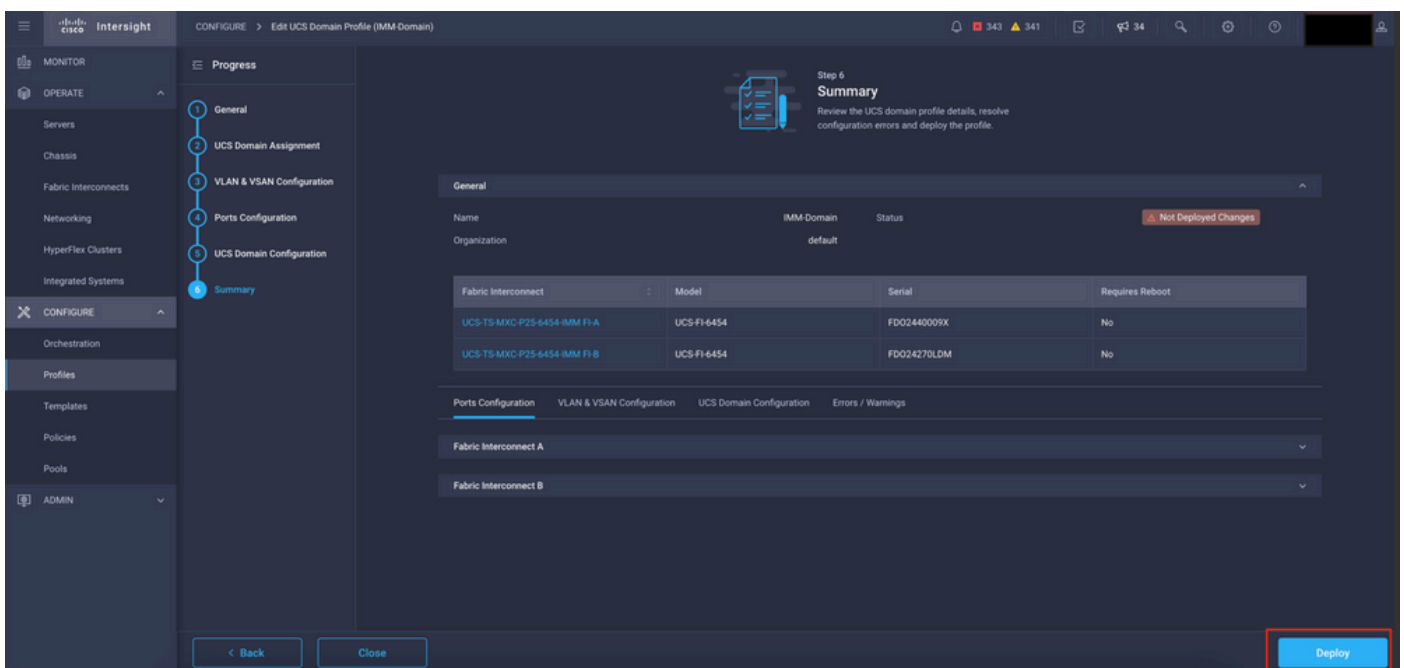
ポリシーが選択されました

設定を検証します。



構成の検証

ステップ 3：ドメインプロファイルを導入します。[Summary] ペインで、[Deploy] をクリックします。



変更を導入する

設定が展開され、選択したポートが設定されます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。